

見逃してはいけない 眼瞼下垂

神経眼科的鑑別から治療選択まで

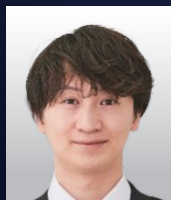
日時 | 2026年11月26日(木) 12:00~13:00

会場 | 第2会場 ロイヤルホールヨコハマ2F
シャンボール、120席



座長

北岡 康史 先生
(聖マリアンナ医科大学)



演者1

形成外科医が診る眼瞼下垂
～診断から手術・術後まで～
小島 康孝 先生
(昭和医科大学藤が丘病院)



演者2

眼瞼下垂の“見逃してはいけない 10%”
—神経眼科的アプローチから
薬物治療まで—
石川 均 先生
(北里大学)

眼瞼下垂は日常診療で遭遇する機会の多い所見ですが、その背景には加齢性変化や長期コンタクトレンズ装用のみならず神経疾患や筋疾患など見逃してはならない病態が含まれています。急激に発症し画像検査を要する場合や、時には一見ありふれた慢性に経過する症状の背後に潜む疾患を見極める必要もあるかもしれません。眼球運動障害や瞳孔の状態も評価し、重症筋無力症や動眼神経麻痺、Horner症候群などを鑑別していくことは患者の予後や治療方針に重要と考えられます。一方で、眼瞼下垂による視機能障害やQOLへの影響に対しては、外科的治療を含めた適切な介入が求められます。そのため、診断・鑑別のみならず、治療選択までを視野に入れた包括的な理解が重要となります。

本セミナーでは、『見逃してはいけない眼瞼下垂 — 神経眼科的鑑別から治療選択まで —』をテーマに、2名の講師をお招きしています。

小島康孝先生には形成外科の立場から眼瞼下垂の治療戦略と手術の実際について、石川均先生には眼科・神経眼科の立場から診断および鑑別のポイントについてご講演いただきます。

本セミナーが、先生方の現在そして今後の眼瞼下垂診療の一助となれば幸いです。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

ランチョンセミナーは整理券制です。整理券がなくなり次第、配布終了となります。

配布日時 11月26日(木) 10:00~11:30

配布場所 ロイヤルホールヨコハマ 2F ロビー

整理券はセミナー開始後に無効となります。

共催：第64回日本神経眼科学会総会／参天製薬株式会社

見逃してはいけない 眼瞼下垂

神経眼科的鑑別から治療選択まで

第64回日本神経眼科学会総会 ランチョンセミナー2

日時 | 2026年11月26日(木) 12:00～13:00

会場 | 第2会場 ロイヤルホールヨコハマ2F
シャンボール、120席

座長

北岡 康史 先生（聖マリアンナ医科大学）

1997年 聖マリアンナ医科大学 医学部 卒業
2003年 聖マリアンナ医科大学大学院 博士課程 修了
聖マリアンナ医科大学 助手
南カリフォルニア大学 Doheny Eye Institute 留学
2005年 聖マリアンナ医科大学 眼科学 助手
2008年 聖マリアンナ医科大学 眼科学 講師
2014年 聖マリアンナ医科大学 眼科学 准教授
兼任 聖マリアンナ医科大学大学院 分子神経科学 准教授
2019年 聖マリアンナ医科大学大学院 分子神経科学 教授
2022年 聖マリアンナ医科大学 眼科学 教授
現在に至る



演者1

形成外科医が診る眼瞼下垂～診断から手術・術後まで～

小島 康孝 先生（昭和医大学藤が丘病院）

2014年	日本大学 医学部 卒業	2018年	いまきいれ総合病院 形成外科
	東京女子医科大学病院 初期臨床研修	2019年	昭和医科大学病院 形成外科
2016年	昭和医科大学病院 形成外科	2021年	聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科
2017年	昭和医科大学横浜市北部病院 形成外科	2023年	昭和医科大学藤が丘病院 形成外科
	聖マリア病院 形成外科		現在に至る



演者2

眼瞼下垂の“見逃してはいけない 10%” —神経眼科的アプローチから薬物治療まで—

石川 均 先生（北里大学）

1988年	北里大学 医学部 卒業	2002年	国際医療福祉大学熱海病院 眼科 助教授
1994年	北里大学大学院 博士課程 眼科専攻 修了	2005年	北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学 教授
	米国オハイオ州立大学 薬理学教室 留学		北里大学大学院 医療系研究科 視覚情報科学 教授
1996年	北里大学 医学部 眼科 講師		現在に至る



第64回日本神経眼科学会総会への参加には、参加登録が必要です。
10月19日(月)まで、早期割引を実施しております。
こちらの二次元コードよりご登録ください。

